

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

①第三者評価機関名

社会福祉法人 岐阜県社会福祉協議会

②事業者情報

名 称： 岩村こども園	種別： 保育所
代表者氏名： 加藤 京子（園長）	定員（利用人数）： 175 名
所 在 地： 恵那市岩村町1545-1	TEL 0573-43-2209

③総 評

<p>◇特に評価の高い点</p> <p>岩村町は、全国で48番目に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されており、400年の歴史を持つ城下町である。教育の先駆者で和歌を4歳、俳句を6歳で詠んだ下田歌子の故郷でもあり、それらを次世代に担う園児たちに養育・教育を実践されている。また、豊かな自然環境に恵まれており、季節や自然に対する興味や関心を高める保育をしている。</p> <p>市町村合併前の旧岩村町時代から、各種行事を通じて多様な交流を積み上げている。また、地域子育て支援センター事業を併設し、未就園児等の交流機会を提供する体制を確保している。</p> <p>地域の企業からは竹の子掘りに招待される等、地域ぐるみで子育て支援をしていることが感じられ、人的・物的環境が整備されている。</p> <p>保育技術の向上の取り組みや、認定こども園教書等で職員の教育姿勢が明確となっている。研修後のレポートを全員で確認し、こども園内で参考にできることは取り入れ、こども園の活性化に生かされている。</p> <p>保育室は、広く明るく衛生的で温かな雰囲気を感じられる。保育中は、基本的な生活習慣が身につくよう配慮されている。特に3歳未満児の保育室は、音楽堂を改修したもので、天井も高く採光条件もよい。とてもよい環境のもとで保育されている。</p> <p>食育の大切さを伝えるため、参観日を利用して試食できる機会を設け、栄養・味付け・食べ方等こども園で配慮していることを知らせている。また、指導計画の中にも食育の大切さを盛り込み、こども園全体で行っていることを理解してもらうように努めている。</p> <p>施設長自ら「えんちょう先生のわくわくだより」を毎月発行している。通信を通して保護者に子育てについて問いかけ、共通の理解と認識を得るための機会として設けている。</p> <p>保護者向けのアンケートを実施した結果、保育士が園児一人ひとりを気にかけてくれているといったことや、ちょっとしたことでもしっかり伝えてくれるので安心して預けられるなどの声が多数あった。</p> <p>訪問調査時には、職員だけでなく、園児からの自然な挨拶が行われており、とても雰囲気の良いこども園であった。</p>
--

◇改善を求められる点

今回の保護者アンケート結果によると、理念や基本方針、事業計画についての保護者の理解が十分ではなかったと見受けられた。保護者への周知や説明の方法について検討されたい。

職務分担について、防犯・防災等の担当が設けられていない。また、担当者が1名のみ職務内容があるため、主務者と副主務者を選任されるなど、見直しをされたい。

必要な法令・省令・通達等をリスト化されて職員で共有されたい。

管理職は、職員に対して、実行を期待している業務の内容を示し、また、職員は自らの目標や仕事の達成度について確認し、自己評価と関連づけた人事考課の実施を期待したい。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

昨年度、こども園、指定管理と同時に行われた岩村こども園です。職員の入れ替わりや制度の違いなど慣れない日々の中で行っていただいた第三者評価でした。言葉は聞いていましたが、十分な見通しも出来ないまま当日を迎えてしまいました。評価項目の中には、私達の聞き慣れない言葉や気付かない項目もあり、改めて園の問題点や危機管理、保護者に対する情報提供の大切さ等を確認する機会となりました。評価調査委員の皆様、努力した部分は高評価していただき、今後の課題を明らかにして頂いたので、その評価を真摯に受け止め、職員一同、質の高い保育を目指して今年度も頑張りたいと思います。ありがとうございました。

⑤評価細目の第三者評価結果（別添）

評価細目の第三者評価結果

1 共通項目

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-1 (1) 理念、基本方針が確立されている。		第三者評価結果
	I-1-1 (1) -① 理念が明文化されている。	B
	I-1-1 (1) -② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	B
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現況報告書には、理念として「あかるい子・かしこい子・たくましい子」とあり、保護者に対して、理解が得られやすい言葉で掲げられている。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理念とは、「その事業所の社会的存在理由や信条を明らかにし、施設を運営する上での根底にある基本的な考え方」です。また、基本方針は、理念から同こども園が目指す方向の基本姿勢を明示したもので、職員・保護者が共有することが望まれる。 理念・方針は、既に「保育課程」に記されているので、新年度より「運営管理・養護と教育を一体的に行う」こども園とされ、地域として社会的資源の役割を期待する。 		
I-1-1 (2) 理念や基本方針が周知されている。		
	I-1-1 (2) -① 理念や基本方針が職員に周知されている。	B
	I-1-1 (2) -② 理念に基本方針が利用者等に周知されている。	B
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育課程を全職員で共有され、職員会等で確認し理解されている。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この4月に「認定こども園」となって過渡期の1年であり、施設長以下困難を克服しつつと思われるが「理念・基本方針」の周知は、職員として当然で、保護者・地域住民・関係機関等にも広く周知され理解されることが大切です。 当評価機関の実施した保護者アンケート結果によると、「理念・方針を理解した」という回答は59%でした。こども園としては、大変努力されているが、周知について今一度検討されたい。 		

I-2 事業計画の策定

I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者評価結果
	I-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	—
	I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	—
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設長に与えられた職掌の範囲内を超えているため評価できない。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
I-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
	I-2-(2)-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	B
	I-2-(2)-② 事業計画が職員に周知されている。	A
	I-2-(2)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	B
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の策定は、職員も参画され、全職員で検討され自覚を持って対応されている。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の各計画とは、「保育指導計画」「保健計画」「食育計画」「防災・震災計画」「研修教育計画」「人事計画」等と「単年度行事計画」がある。これらの策定には職員が参画するなど、職員の意見が反映される仕組みを定め、また、保護者等の意見・提言をふまえて各計画を作成し、職員・保護者が共有されることを期待する。 今回の保護者アンケート結果によると、「事業計画の説明を理解した」が44%、その他が56%であり、保護者の理解は十分ではない。職員は努力されているが、全職員で今一度検討されたい。 		

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		第三者評価結果
	I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	A
	I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども園に移行して、役割と責任を感じられていることの熱意は十分伺え、今後の課題も把握しておられるので、新年度以降も期待する。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職務分担について、防犯・防災等の担当が設けられていない。また、担当者が1名のみの職務内容があるため、主務者と副主務者を選任されるなど、見直しをされたい。報告・連絡・相談の大切さは理解されているので、組織の要として実施方法等について再度見直しを望む。 ・必要な法令・省令・通達等をリスト化されて職員で共有されたい。 		

I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
I-3-(2)-①	質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	B
I-3-(2)-②	経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	—
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理職として「良質かつ適切な児童福祉サービスを提供するよう努められている」ことは理解し、指導力を発揮されて管理職の責務は果たされている。 ・経営については、評価できない。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恵那市の園経営重点項目に「自己評価を園経営の改善に生かしその結果を公表することで開かれた園づくりを推進することが出来る」とあり、管理者として園の良さや課題を正しく認識され、保育の質の向上という観点のもと、施設の自己評価を実施されることを期待する。 		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1)-①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	—
Ⅱ-1-(1)-②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	—
Ⅱ-1-(1)-③	外部監査が実施されている。	—
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の評価基準の考え方とポイントで「公共施設については、施設長に与えられた職掌の範囲内を考慮した上で評価する」と明記されている。よって、この項目は、評価できない。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅱ-2 人材の確保・養成

Ⅱ-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1)-①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	—
Ⅱ-2-(1)-②	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人事については、法人で実施しているため、評価できない。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人事考課の目的と役割は、「人材の能力開発、育成に活用され公正な職員処遇の実現、個々の意欲を喚起し組織活性化に役立つこと」です。管理職は、職員に対して、実行を期待している業務の内容を示し、また、職員は自らの目標や仕事の達成度について確認し、自己評価と関連づけた人事考課の実施を期待したい。 		

II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A
	II-2-(2)-② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	B
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康診断が定期的実施され、また、職員の就業状況も把握されており、働きやすい環境が整備されている。有給休暇の取得についても管理者が範を示されている。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> 福利厚生は、職員の余暇活動や日常生活に対する支援を行い、また、法人として「福利厚生センター」の加入を考慮され、職員の福利厚生の幅を広げられることを期待する。 		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
	II-2-(3)-① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	B
	II-2-(3)-② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	B
	II-2-(3)-③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育技術の向上の取り組みや、認定こども園教書等で職員の教育姿勢が明確となっている。研修後のレポートを全員で確認し、こども園内で参考にできることは取り入れ、こども園の活性化に生かされている。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> 質の向上とは「子どもの最善の利益を考慮し、人権に配慮した保育を行うためには、職員一人一人の倫理観、人間性並びに職員としての職務及び責任の理解と自覚が基盤となること」（新保育所保育指針より）であり、求められる職員の在り方を技術水準や専門性の向上といった点から明確にした職員の教育・研修に関する組織の基本姿勢の確立に向けて再度見直しを期待する。また、内外の研修を通じて、必要な知識及び技術の習得、維持及び向上にむけ自己評価書の項目の見直しを望む。 他の職員や地域の関係機関など、様々な人間関係の中で共に学びあう環境を醸成することで「こども園」の活性化が図られることを期待する。 		
II-2-(4) 実習生の受入れが適切に行われている。		第三者評価結果
	II-2-(4)-① 実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	B
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> 管理者は、次世代の児童福祉職員の育成に熱意があり、積極的な姿勢を見受ける。地域的か実習生の受入は、27年に1名のみ。 		

<p>改善できる点／改善方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、法人での次世代での育成の計画で、同こども園の役割を検討されたい。 ・ 実習生受入マニュアルを整備されたい。

Ⅱ－３ 安全管理

Ⅱ－３－（１） 利用者の安全を確保するための取組が行われている。		第三者評価結果
Ⅱ－３－（１）－①	緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	A
Ⅱ－３－（１）－②	災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	A
Ⅱ－３－（１）－③	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保健・健康や安全対策、災害時対応等のマニュアルなどの基本事項を整備して記録している。その他、消防署指導による実地訓練や遊具の定期点検など、常に安全の確保に配慮した取り組みを行っている。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅱ－４ 地域との交流と連携

Ⅱ－４－（１） 地域との関係が適切に確保されている。		第三者評価結果
Ⅱ－４－（１）－①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A
Ⅱ－４－（１）－②	事業所が有する機能を地域に還元している。	A
Ⅱ－４－（１）－③	ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市町村合併前の旧岩村町時代から、各種行事を通じて多様な交流を積み上げている。また、地域子育て支援センター事業を併設し、未就園児等の交流機会を提供する体制を確保している。 ・ ボランティア活動では地元中学生の職場体験や家庭科授業での交流体制なども整えている。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅱ－４－（２） 関係機関との連携が確保されている。		
Ⅱ－４－（２）－①	必要な社会資源を明確にしている。	A
Ⅱ－４－（２）－②	関係機関との連携が適切に行われている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市役所の所管課をはじめ、小学校や（幼児）発達支援センター（山岡町）等と連携を確保し、必要な情報の交換等を行っている。 		

改善できる点／改善方法：

Ⅱ－４－（３） 地域の福祉向上のための取組を行っている。		第三者評価結果
	Ⅱ－４－（３）－① 地域の福祉ニーズを把握している。	A
	Ⅱ－４－（３）－② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援センター事業（市直営）を基幹施設に位置づけ、未就園児の交流などを積極的に行っている。また、市（町）民運動会への参加をはじめ、市民老人クラブや民生委員・児童委員、近隣の人々や隣接小学校などと多様な交流を行っている。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ－１－（１） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		第三者評価結果
	Ⅲ－１－（１）－① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	A
	Ⅲ－１－（１）－② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	B
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者に対して丁寧かつきめ細やかな配慮をして接するよう会議等を通じて常に職員に周知している。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プライバシー保護（マニュアル）や保護者から情報の提供（開示）を求められた場合の対応に関する規程の整備を今後備えることを期待する。 		
Ⅲ－１－（２） 利用者満足の向上に努めている。		
	Ⅲ－１－（２）－① 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事等の実施後にはアンケートを徴し、次回以降の保育等の参考に資している。その他保護者会との協力体制の確保にも意を注ぐなど、利用者満足の向上に努めている。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅲ－１－（３） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ－１－（３）－①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	A
Ⅲ－１－（３）－②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A
Ⅲ－１－（３）－③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者代表が参加する運営委員会を定期的で開催して参考意見等を聴く機会にしている。意見箱を設置するとともに、対応責任者を明示するなど利用者に周知している。意見箱の意見（１件）処理も適切である。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅲ－２ サービスの質の確保

Ⅲ－２－（１） 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。		第三者評価結果
Ⅲ－２－（１）－①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	A
Ⅲ－２－（１）－②	評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	B
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に自己評価を実施しており、施設長が結果を掌握している。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価の結果に基づき、組織の今後の課題や改善策等を明確にするなど一層の活用を期待する。 		

Ⅲ－２－（２） 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。		第三者評価結果
Ⅲ－２－（２）－①	提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	A
Ⅲ－２－（２）－②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準的実施方法が確立しており、また、各レベル（３歳以上児・３歳未満児等）の職員（スタッフ）会議を通じて見直しする仕組みも確立している。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅲ－２－（３） サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ－２－（３）－①	利用者に関するサービスの実施状況の記録が適切に行われている。	A
Ⅲ－２－（３）－②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A
Ⅲ－２－（３）－③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記録は適切である。また、園内会議等を通じて職員間の情報共有をしており、記録も一元的管理をするなど適切である。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅲ－３ サービスの開始・継続

Ⅲ－３－（１） サービス提供の開始が適切に行われている。		第三者評価結果
Ⅲ－３－（１）－①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A
Ⅲ－３－（１）－②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市域（行政主体）全体で共通のパンフレットを作成して周知しており、市の責任において同意を前提にサービスを開始している。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ－３－（２） サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
Ⅲ－３－（２）－①	事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつでも対応できる体制にある。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅲ－４ サービス実施計画の策定

Ⅲ－４－（１） 利用者のアセスメントが行われている。		第三者評価結果
Ⅲ－４－（１）－①	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市域（行政主体）全体で共通の書式で実施。記録等も適切である。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅲ－４－（２） 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	
Ⅲ－４－（２）－① サービス実施計画を適切に策定している。	A
Ⅲ－４－（２）－② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市域（行政主体）全体で共通の書式（年間計画・月案・週案・日案等）で実施している。記録等も適切である。 	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

評価対象Ⅳ 保育所保育の基本

Ⅳ－１ 養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
Ⅳ－１－（１） 保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恵那の豊かな自然を生かし、園の特徴や地域に根ざした保育を心がけている。保育課程は、家庭や園児の実態に合わせた内容である。保護者の就労状況を加味して保育時間を考慮する等、総合的に立案されている。 	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅳ－１－（２） 乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育室は、広く明るく衛生的で温かな雰囲気を感じられる。保育中は、基本的な生活習慣が身につくよう配慮されている。特に３歳未満児の保育室は、音楽堂を改修したもので、天井も高く採光条件もよい。とてもよい環境のもとで保育されている。 ・３歳未満児は自園給食、３歳以上児は給食センターと区別はしているが、月齢に合わせた離乳食が作られており、アレルギーにも対応されている。また、調理員と保育士との連携が確立され、３歳児までの育ちの大切さを全職員で共通理解し、実践されている。 	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅳ－１－（３） １・２歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種研修会に参加するだけでなく、恵那市幼児教育研究会の園内研修などを開催し、実技研修も行っている。 <p>園児は、身体をいっぱい動かし脳の発達を促すため、園全体で朝の体操やリズム遊びを行い、元気いっぱいに過ごしている。１・２歳児の保育も同様に行われており、保育に一貫性を持っている。</p>	

改善できる点／改善方法：	
IV-1-(4) 3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者に入園・進級時に配布するしおりの「家ではこんな事に心がけて」のページで、3歳以上児が基本的な生活習慣を身につけるために、園の方針や家庭で留意しておくべき事などが具体的に記されている。こども園と保護者でそれぞれの年齢や園児一人ひとりの育ちに応じて取り組んでいる。 	
改善できる点／改善方法：	
IV-1-(5) 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校と隣接しているという条件を生かして、小学校の全職員が夏休みに園を訪問し、こども園から小学校にスムーズに移行できるよう交流するだけでなく、こども園からも職員が小学校を訪問している。 ・1年生との交流では、1年生が作った手作りおもちゃを園児と一緒に遊ぶなど、園児が学校に対する期待や意識が高まるように触れ合っている。 	
改善できる点／改善方法：	

IV-2 環境を通して行う保育

	第三者評価結果
IV-2-(1) 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育室は部屋の空間を上手に利用し、園児が安心してすごせるように配慮されている。 ・施設長が「こどもを信じよう」と提案され、5歳児に刃がついている「草かき」の道具を与えたが、使い方を説明したことでうまく使えるようになった。5歳児が草かきを手伝うようになり、4歳児にも広げようと計画している。 ・仕事を通して、園児の人権や安全に十分留意しながら、心地よく過ごすことのできる環境づくりに配慮している。 	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(2) 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	A

<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児が日常生活において自分でできたことを毎日チェックする「やってみよう5！」の取組みをされ、健康で十分に体を動かすことができるようにしている。のびのびと活動が出来るように、園児にカードを配布し、出来たことと苦手なことを自分で判断させ、色鉛筆でチェックさせている。自己判断した苦手なことを、自分でやろう、できるようになろうとする園児の意欲や思いを大切に育てるための環境を設定できるように、保護者・家庭に呼びかけている。園児の積極的に頑張る力を育てることにつながっている。 	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-2-(3) 子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。</p>	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縦割り保育を年間計画に盛り込み、実践している。今年度は「こどもの感覚で縦割グループ選びをさせよう」と考案し実験的に実践した。その結果、グループのメンバーが固定化し、保育士が想定しているグループとは異なっていた。次年度は本年度までの反省を活かし見直しをされる等、集団生活に必要なルールが身につくような配慮をしている。 	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-2-(4) 子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。</p>	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔からの城下町であるため、豊かな自然環境に恵まれている。その利点を活かして季節や自然に対する興味や関心を高める保育をしている。公共交通機関を利用した遠足や、歴史ある岩村城への遠足、近隣の方達による四季折々の野菜の指導等、園児と地域との繋がりが強く感じられる。地域の企業からは竹の子掘りに招待される等、地域ぐるみで子育て支援をしていることが感じられ、人的・物的環境が整備されている。 	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-2-(5) 子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。</p>	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月2回、定期的に図書館司書とALT（外国人講師）の訪問があり、遊びや活動の中で様々な話し言葉に触れる機会がある。老人クラブ・まめな会（元気で歩けるお年寄り）・中学生のボランティア等地域とのつながりも多く、園児といろいろな人との交流があり、人的にも物的にも恵まれている。 	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

IV-3 職員の資質向上

IV-3-(1) 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	第三者評価結果
	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価については、年2回定期的に実施している。保育の記載や実技内容については、保育士が自主的に研修会に参加している。実践記録簿については施設長に指導を受けるなどして、保育士同士の学びあいや意識の向上に努めている。 	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

評価対象V 子どもの生活と発達

V-1 生活と発達の連続性

V-1-(1) 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	第三者評価結果
	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新任保育士はベテランの先生と連携し、保護者とのコミュニケーションのとり方や返答の仕方などを学んでいる。自分ひとりで判断せず、相談をすることを積み重ねることで一人ひとりを受容した保育士の援助ができるように努めている。 	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
V-1-(2) 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある園児には、必要に応じ専門機関から相談助言が受けられ、園児の生活の質を高めるような関わりをしている。 	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
V-1-(3) 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長時間保育は、年齢を考え、3歳未満児と3歳以上児を分けて保育している。担当者は毎日替わるのではなく、園児が安心して過ごせる時間を設定し、同じ保育士を担当にしている。18時以降も残る園児には、手作りのおやつを提供している。また、16時30分から17時の間は、2歳児から5歳児までが外で遊べるように配慮するなど、長時間にわたる保育のために環境設定に工夫を凝らしている。 	

改善できる点／改善方法：

V-2 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場

V-2-(1) 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	第三者評価結果 A
良い点／工夫されている点： ・園児一人ひとりの健康管理表があり、園児の健康状態に関する情報を全職員で周知している。アレルギー児、てんかん児等の園児には、個別に対応マニュアルを作成し全職員に周知徹底している。	
改善できる点／改善方法：	
V-2-(2) 食事を楽しむことができる工夫をしている。	A
良い点／工夫されている点： ・園児が畑作りから、種まき、苗うえ、水やり、草取りなどの畑仕事を1年かけて行っている。特に枝豆については、収穫を体験し節分の豆まきに使用するなど、食育に関わる豊かな経験ができるよう保育計画に位置づけている。昨年度は、育てた野菜を使って保護者と一緒にカレー作りを体験し、食事を楽しむことができた親子ともに好評であった。	
改善できる点／改善方法：	
V-2-(3) 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	A
良い点／工夫されている点： ・3歳未満児は自園給食であるため、生後6ヶ月からの乳児を受け入れるときには離乳食を作ったり、アレルギーの除去食も実施したりと個別に対応している。3歳以上児は給食センターから取っているが、一人ひとりに対して、苦手な食材にも挑戦できるよう楽しい雰囲気作りに心がけている。園児たちに「おいしいね」と食事を楽しめるような言葉がけをしている。	
改善できる点／改善方法：	
V-2-(4) 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	A
良い点／工夫されている点： ・健康診断や歯科検診の結果は保護者に通知し、治療を要する場合は、早めの通院を薦めているが、今後は異常が無くても全園児に知らせ、家庭での保育に反映させようと考えている。	
改善できる点／改善方法：	

V-3 健康及び安全の実施体制

V-3-(1) アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	第三者評価結果 A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必ず主治医から診断書の提出を求め、検査結果を給食センターにも送付している。保護者、担任、給食職員（調理員・給食センターの栄養士）での面談を行い、除去食等提供している。園内においては、アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ園児に対し、年齢ごとの色別の紙で作成した一覧表を作成したり、職員会等で確認する等して、アレルギー児について全職員が把握できるようにしている。 	
改善できる点／改善方法：	
V-3-(2) 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理室は調理員以外入室を禁止している。調理員は感染症に罹患しないように調理室で昼食をとり、衛生管理に取り組んでいる。園児が収穫した生野菜は、酢水で消毒するなど衛生管理に留意している。 	
改善できる点／改善方法：	

評価対象VI 保護者に対する支援

VI-1 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
VI-1-(1) 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育の大切さを伝えるため、参観日を利用して試食できる機会を設け、栄養・味付け・食べ方等子ども園で配慮していることを知らせている。また、指導計画の中にも食育の大切さを盛り込み、子ども園全体で行っていることを理解してもらうように努めている。 ・アレルギー児には特別の献立表があり、普通児の献立と一緒に毎月2枚配布している。 	
改善できる点／改善方法：	
VI-1-(2) 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国から来ており、不安に感じながら生活している保護者も多いため、様々な機会を活用して、保護者の思いを真摯に受け止め丁寧に答えている。中でも、バス通園児が多いため、特別面談や個別懇談を実施している。園児の成長が感じられたときには、毎日の送迎時間やお便り帳を活用して直接成長を伝え、喜びを共有し、保護者支援につなげている。 	

改善できる点／改善方法：	
VI-1-(3) 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	A
良い点／工夫されている点： ・「生きる力」を園児や保護者に伝えるために、「えんちよう先生のわくわくだより」を毎月発行している。通信を通して保護者に子育てについて問いかけ、共通の理解と認識を得るための機会として設けている。	
改善できる点／改善方法：	
VI-1-(4) 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	A
良い点／工夫されている点： ・こども園では毎日園児の心身の状態を常に配慮し変化に気付けるように職員が一丸となって一人ひとりの園児を大切にしている。不適切な養育や虐待を疑われる場合には、全職員で検討し、子育て支援課と連携を図るなど報告・連絡・相談を行っている。情報交流を園内だけでなく、行政ともできるようにしている。	
改善できる点／改善方法：	

評価対象Ⅶ 個別サービス着眼点（岐阜県独自項目）

Ⅶ－１ 安全管理面でのサービス

	第三者評価結果
Ⅶ－１－（１） 外部からの侵入に対する対応策がとられている。	A
良い点／工夫されている点： ・業者委託によりセキュリティが確立している。	
改善できる点／改善方法：	

Ⅶ－２ 保護者とのコミュニケーション

	第三者評価結果
Ⅶ－２－（１） 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。	A
良い点／工夫されている点： ・年間の行事予定の事前配布をはじめ、体験入園の実施等身近なこども園づくりに配慮が行き届いている。その他プール参観などは保護者の都合で参観日を選択できるようにしている。	
改善できる点／改善方法：	
Ⅶ－２－（２） 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。	A
良い点／工夫されている点： ・保護者会規約に基づき運営しており、保護者会議には適宜職員も出席するなど、友好的、協力的な関係が確保されており、各種行事等の実施に際しても合意がされている。	
改善できる点／改善方法：	

Ⅶ－３ 保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
Ⅶ－３－（１） 保育所・幼稚園・小学校との連携した取組を行っている。	A
良い点／工夫されている点： ・小学校は隣接にあり、保護者や園児に身近な存在になっている。また、就学に備えて小学校（教師）と情報交換を実施するなど、教育との連携体制が確立している。	
改善できる点／改善方法：	